

「ガス安全高度化計画2030」の 取組状況について（製造者）

2024年3月11日



1. 概要

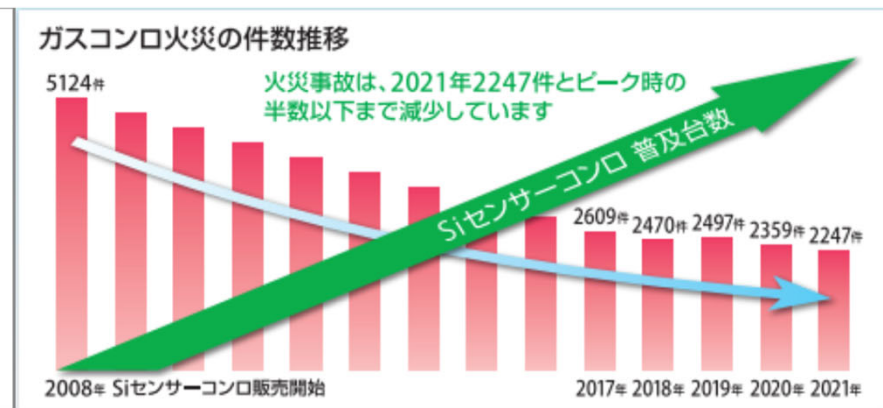
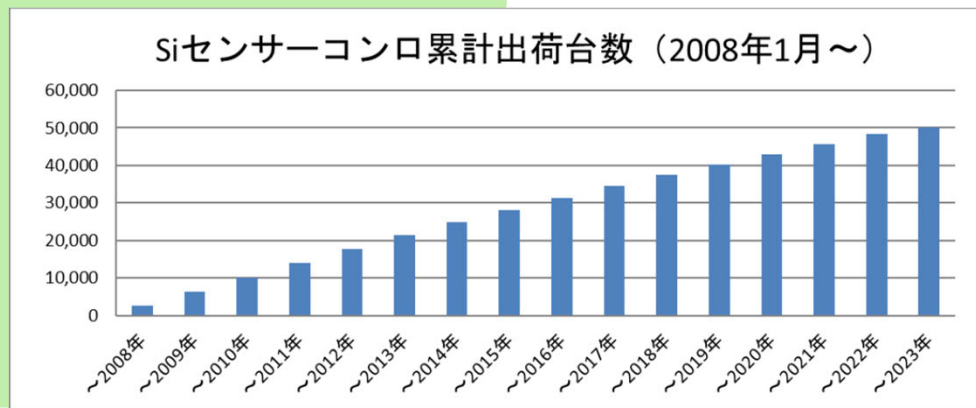
(一社) 日本ガス石油機器工業会では、ガス安全高度化計画2030のうち、消費段階のアクションプランに対する主な取組みを報告する。

2. 消費段階のアクションプラン

対 策	具体的な実施項目
<input type="checkbox"/> 機器設備対策	
○安全型機器・設備の更なる普及拡大	・安全型ガス機器（S i センサーコンロ等の普及）
<input type="checkbox"/> 周知・啓発	
○家庭用需要家に対する安全意識の向上のための周知・啓発	・非安全型機器・経年設備の取替えのすすめ
	・誤使用事故防止に関する啓発
	・機器使用時の換気励行のお願い
○関係事業者への安全意識向上のための周知・啓発	・(建物塗装養生時等の)注意事項に関する周知・啓発

3. 消費段階のアクションプラン —機器・設備対策—

アクションプラン	主な取組状況
<p>安全型機器・設備の更なる普及拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全型ガス機器 (Siセンサーコンロの普及拡大) 	<p>2008年から販売を開始したSiセンサーコンロの出荷台数が2023年10月末で累計5,000万台を突破した。(累計台数5,020万台)</p> <p>「Siセンサーコンロ」とは、全ての火口に「調理油過熱防止装置」、「立消え安全装置」、「消し忘れ消火機能」といった機能を装備することにより、非常に高い安全性と利便性を実現し、コンロを原因とする火災件数の減少に貢献している。下記のグラフから分かるようにSiセンサーコンロの普及が進んでいくにつれて、火災件数については減少していき、2021年にはピーク時の半数以下となった。</p> <p>今後も、ガス機器の安全性や利便性の向上に取り組むとともに一層の普及促進を図り、ガスのあるスマートな暮らしをサポートしていく。</p>



3. 消費段階のアクションプラン 一周知・啓発（その1）

アクションプラン	主な取組状況
----------	--------

家庭用需要家に対する安全意識の向上のための周知・啓発

- ・非安全型機器・経年設備の取替えのすすめ

①消費者対象の安全啓発活動として、全国消防を窓口にした婦人防火クラブ、全国女性団体連絡協議会（旧：全国地域婦人団体連絡協議会）主催の製品安全セミナーへ全国41会場に講師を派遣し、誤使用事故防止や安全型ガス機器や安全性の高いガス栓・接続具への取替えを進めている。

講師派遣先及び会場数（年間）

講師派遣先	年間（会場）
全国女性会 製品安全セミナー	31
全国消防 婦人防火クラブ	4
全国女性会 防災学習会	6
計	41



会場風景

日々の防火・防災

消費者向け防災講習 2023年度
※令和4年度 消防庁主催 テーマ別

ガス、石油燃焼機器の
安全・安心な使い方

2016 新設及び増設事業

一般社団法人
JGCA 日本ガス石油燃焼機器工業会

2023 1208

種類（年代）	ホースガス栓 （～1970年代後半）	ホースガス栓 （1970年代後半～1980年代後半）	ヒューズ機構付 ホースガス栓 （1980年代後半～2010年代後半）	オンオフ機構付 ホースガス栓 （1990年代～）	ガスコンセント （1990年代～）
外観	ゴム管用	外観形状は、ほぼ同じです。 ゴム管用	ソケット用	ソケット用	ソケット用
接続口の形状 （ホースエンド口）	ゴム管用 （ホースエンド口）	ゴム管用（ホースエンド口）又はソケット用（コンセント口） ※ソケット用：ガスコードやゴム管用ソケットと接続	ソケット用（コンセント口）	ソケット用（コンセント口）	ソケット用（コンセント口）
安全機構	なし	なし	a.ヒューズ機構	a.ヒューズ機構 +b.オンオフ機構	a.ヒューズ機構 +c.つまみがない機構
誤開放対策	×	×	○	○	◎
接続不完全対策	×	×	×	×	◎
中途閉栓対策	×	×	×	○	◎
安全機構	a.ヒューズ機構：接続したホース等がガス栓より外れた時、ガスの流れを遮断する機構です。（誤開放対策、1983年JIS化） b.オンオフ機構：中継用（筒～筒の間）では、ガスが出ない機構です。（中途閉栓対策） c.つまみがない機構：つまみがないため、中途閉栓（筒～筒の間）が取りやめ。（中途閉栓及び接続不完全対策） （ソケット型機器に接続すると、ガスが流れます。はまずと、ガスを止めます。）				
※5年間の事故の60%は、「ガスコンセント」であれば防げた事故となります。 ※古いガス栓は、安全性の高い「ガスコンセント」への交換をおすすめします。					

3. 消費段階のアクションプラン 一周知・啓発（その2）

アクションプラン	主な取組状況
----------	--------

家庭用需要家に対する安全意識の向上のための周知・啓発

- ・非安全型機器・経年設備の取替えのすすめ

②春と秋の全国火災予防運動に合わせ、全国805か所の消防署等に「ガス燃焼機器には寿命があります」、「ストップガスコンロ火災」等のチラシを合計193,000部配布した。



・寿命があります チラシ
・ガス機器Q&A



・ストップガスコンロ火災 チラシ

③事故を未然に防止するため経年劣化がはじまる前に点検を実施するよう「あんしん点検なるほど読本」を取りまとめ、ホームページに掲載し、啓発している。



3. 消費段階のアクションプラン 一周知・啓発（その3）

アクションプラン	主な取組状況
----------	--------

家庭用需要家に対する
安全意識の向上のため
の周知・啓発
・機器使用時の換気
励行のお願い

小型湯沸し器やガス暖房機器使用時には換気する。安全なガス機器への取替えのすすめをホームページで啓発

ガス湯沸し器やガス暖房機をご使用の皆様へ

ご使用中は必ず換気をしてください

ガスが燃えるには、新鮮な空気が必要で、換気が不十分な状態でガス機器を使用すると、不完全燃焼によるCO（一酸化炭素）中毒を招き、死亡事故にいたるおそれがあります。ガス小型湯沸し器やガス暖房機などのガス機器を室内でご使用の際は、必ず換気をしてください。

ガス小型湯沸し器 ご使用の際は、換気扇を回すか、窓を開けてください。

ガス暖房機 ガスファンヒーター・ガスストーブをご使用になるときは、1時間に1～2回（1～2分）は窓を開けましょう。

換気は2ヶ所以上の窓を開けて、風の通り道を設けると効率よくできます。

こんな時には、決して換気扇を回さないでください！

浴室内設置CF式ガスふろがま CF式（非気密構造）のガスふろがまを使用しているときは、ガス小型湯沸し器や暖房機を使用しないでください。

浴室内に換気が円滑し、CO（一酸化炭素）中毒になるおそれがあります。

安全なガス機器へのお取り替えのすすめ

異常を感じたら使用を中止してご連絡ください

ガス機器の使用中に火が燃えたり、イヤなおい気したり、臭い、炎の色、ススの付着、その他異常が異なられた場合は、換換が必要で、詳しくはガス機器販売店又はメーカー一階顧客窓口までご連絡ください。

- 1 火が燃える
- 2 火が燃える
- 3 火をつけよう

ガス機器も長期使用していると、熱・湿気・ほこりなどの影響や部品の経年劣化により安全性を失い、不完全燃焼が発生するとCO（一酸化炭素）中毒を招き死亡事故につながるおそれがあります。

不完全燃焼防止装置の付いた最新のガス機器に取り替えましょう

ガスで広がるおそれのない安全な暮らし

屋内設置型の給湯器のお取り替えは、屋外型がおすすめ
屋外設置型ガス給湯器は給気（換気）不足や排気筒腐食による室内への排気漏れ等の心配もなく安心してご使用いただけます。快適で安心な住まいのために、ぜひ屋外型をご検討ください。

一般社団法人
日本ガス給湯器工業会
〒101-0046 東京都千代田区神田2-2-11
www.jgki.or.jp

新しい機器へのお取り替えは、お近くのガス機器販売店にご依頼ください。

3. 消費段階のアクションプラン 一周知・啓発（その4）

アクションプラン	主な取組状況
----------	--------

家庭用需要家に対する安全意識の向上のための周知・啓発

- ・関係事業者への安全意識向上のための周知・啓発

①屋外設置給湯機の囲い込み禁止に関する注意喚起チラシを作成し、経済産業省製品安全課の協力を得て住団連、住宅リフォーム推進協議会、住宅リフォーム・紛争処理支援センター、全建総連、JBN、BLR、ALIAに会員各社への周知を依頼した。



②小型湯沸器の有資格者による設置の周知チラシを作成し、日本DIY・ホームセンター協会、大手家電流通協会に注意喚起チラシの周知を依頼した。

